

資料 1

次期今治市総合戦略について



次期総合戦略は、人口定常化をテーマとし、総合計画や国の地方創生2.0の内容を踏まえた5か年の計画とします

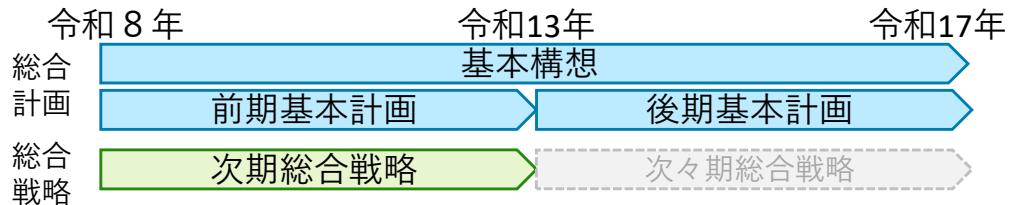
総合計画の位置づけ、期間、ポイント

次期総合戦略の位置づけ

人口減少下においても持続可能な都市経営を維持していく
『人口定常化』の考え方のもと、[人口動態の改善](#)や[地域経済の活性化](#)、[持続可能な生活](#)の実現に資する、今後の今治市が重点的に取り組むべき施策を抽出したもの

計画期間

最上位計画である総合計画の基本計画と連動させ、5か年としつつ、毎年見直しを行う



総合戦略策定に当たってのポイント

① 総合計画に掲載する取組との連動

- 総合計画が市の施策を総括的に記載するのに対し、総合戦略では、人口定常化というテーマに沿った施策を抽出していく
- その際、市の取組の一貫性を確保するため、[総合戦略へは、前期基本計画に掲載される主要な取組と一致する内容を掲載し、前期基本計画と連動させる](#)

② 国の『地方創生2.0』及び県の総合戦略の考え方の反映

- 令和7年6月に閣議決定された「地方創生2.0基本構想」において、[国においては、当面の人口減少が続くことを正面から受け止めつつ、経済を成長させ地方を元気にする](#)という考え方を示し、5本の政策の柱を提示した
- 本市においては、引き続き人口減少対策を講じていくものの、施策や取組を検討するにあたり、国の地方創生2.0の考え方を十分に勘案する
- 愛媛県の総合戦略は、令和5年度から令和8年度までの4か年を期間として、総合計画と一体で策定されているが、令和9年度に新たな総合戦略が策定される際には、本市の総合戦略も、県の総合戦略を勘案して必要に応じた見直しを行う

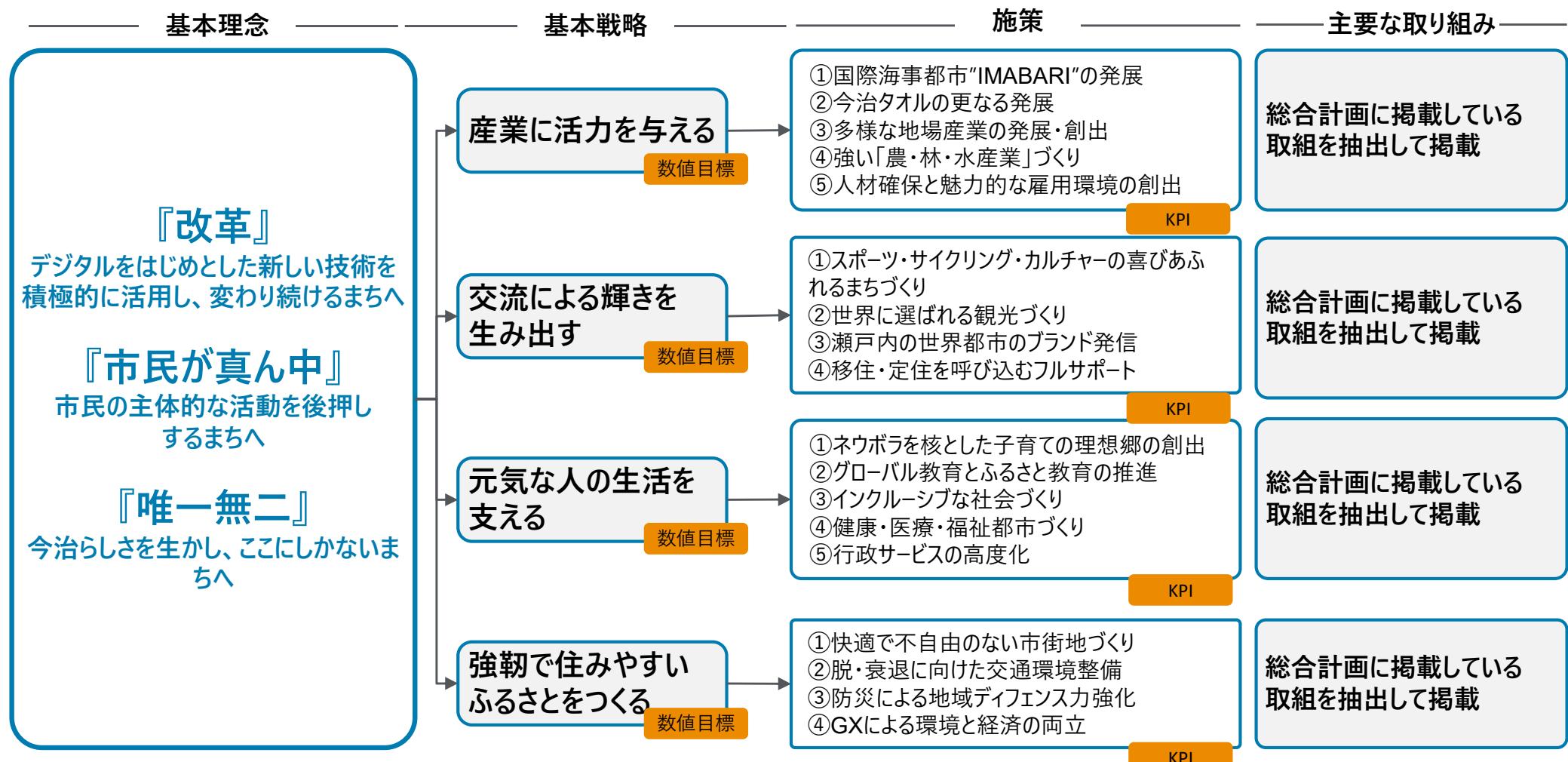


出所：内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局HP

次期今治市総合戦略は、3つの基本理念と4つの基本戦略で構成します 基本戦略に紐づく施策を設定し、そこに総合計画の取り組みを紐づけます

総合戦略の施策体系イメージ

- 地方創生、人口定常化に向け、すべての部局が持つべき3つの理念を設定
- 今治市の総合戦略の柱として、4つの基本戦略を設定し、それに紐づく施策を設定
- 施策に紐づく主要な取り組みは、総合計画と連動させる



今治市総合戦略に掲載する施策や主要な取組と地方創生2.0の政策の柱の関連性を整理して戦略上で示すことで、国の方針を勘案した見せ方とすることを提案します

地方創生2.0・今治市総合計画と今治市総合戦略の関連の見せ方イメージ

- 総合戦略に掲載する施策及び取組ごとに、該当する総合計画の施策や国の地方創生2.0の政策の5本柱のどれに該当するかを整理することで、総合計画との連動性と国の総合戦略との連動性を担保

今治市総合戦略			該当する 総合計画 の施策	地方創生2.0との関連				
基本戦略	施策	主要な取組		①安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生	②稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生～地方イノベーション創生構想～	③人や企業の地方分散～産官学の地方移転、都市と地方の交流等による創生～	④新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の徹底活用	⑤広域リージョン連携
産業に活力を与える	国際海事都市“IMABARI”的発展	世界とつながる海事都市の魅力づくり	3-1-1 世界とつながる海事都市今治の発展	○		○		
		多様な人材が輝く海事産業の未来	3-1-1 世界とつながる海事都市今治の発展		○	○		
	今治タオルの更なる発展	今治タオルブランドの持続可能な発展に向けた支援	3-1-2 今治と世界をつむぐタオル産業の発展		○	○		
		タオル縫製士の養成・施設整備	3-1-2 今治と世界をつむぐタオル産業の発展		○	○		

IMAGE